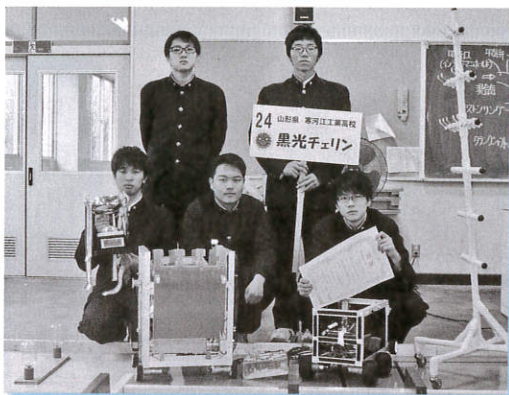




発行所
山形県立寒河江工業
高等学校 P T A
山形県寒河江市緑町148
電話 (86) 4278



今年の思い出

第 74 号
平成30年3月3日



日頃より皆様にはPTA活動に多大なご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

さて早いものでもう三月。一年の締めくくりの月となりました。振り返ってみますと、PTA活動を通じて多くの出会いがあり、活動の取り組みや話し合いの場がありました。上山で開催された第六十四回県高P連研修会では各校の研究発表に感心し、講演を聞いては勉強になりました。また、盛岡で

PTA活動を振り返り



PTA会長
高橋 靖

東北各県の学校統合の実状や方向性等を話し合いました。責任感も今までになく感じた一年でした。その責任感が良い刺激となつて毎日の生活が充実していたようにも感じています。

学校行事では、入学式・PTA総会・後援会総会・評議員会等への参加。後援会総会において感じたことは、寒河江市内はもとより、山形県内の企業へ貢献する寒河江工業は後援会無しでは語れないと

いうこと。また、一番の思い出は、みこし祭りで子供達と大きな声を出し盛り上げたこと。

PTA会長として過ごした日々はあつという間でありましたが、子供達のこと、学校のこと、地域のことなど、一生懸命考えながら、同じ時間を過ごせたということも貴重な経験であり、幸せな時間でした。

PTA会長という大役にもかかわらず、至らぬ点ばかり

でしたが、多くの方々の温かいご指導とご協力のおかげで一つずつ解決することができました。会長の役からは離れますが、この経験を生かし、これから子供達の健やかな成長を願い、積極的に協力していこうと思っています。

最後に、PTAに関わってくださった、保護者の皆様、後援会の皆様、学校の先生方、すべての方へ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当に一年間お世話になりました。ありがとうございます。

各専門部より

今年度を振り返って

総務部部長 今野 正広
一年間、総務部部長を務めさせていただいた今野と申します。PTA会長を始め役員の皆様、保護者、先生方の皆様、一年間大変お世話になりました。総務部部長に就任した際にはわからないことばかりで皆様にとくさんのご迷惑をおかけしたと思います。そんな中でも皆様の温かいお心遣いはとても嬉しかったです。

総務部の活動は主に、PTA活動全般の推進、育成部、文教部等他専門部との連携を通して活動を行ってまいりました。これらの活動に参加する事で子供の成長も近くで見ることができたと感じております。PTA役員という大きな仕事をいただき、責任感も今までになく感じた一年でした。人と助け合う大切さを痛感した一年間でもありました。PTA活動に関わってくださったすべての方への感謝の気持ちでいっぱいです。本当に一年間お世話になりました。ありがとうございます。

今年度を振り返って

育成部部長 佐藤 次良
今年度の育成部の主な活動は三つありました。一つ目は「校内・地区主催の交通安全運動」これは朝八時十分から三十分の間昇降口で先生方と

卒業を迎えて

三年主任 松田 浩明

三年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。また、これまでの学年運営にご理解としご協力を頂き心より感謝申し上げます。三年前中学を卒業したばかりのお子様をお預かりしましたが、時間の経つのは早いものであつと言間に卒業を迎えるばかりとなりました。本校での勤務年数が短い学年構成であり、互いに不安が無かつた訳ではありませんでした。

参加できる役員の方であいさつ運動を行うというものです。私は慣れないあいさつ運動に戸惑いながら「おはようございます」の声をかけていると、生徒の皆さんは大きな声であいさつしてくれましたので清々しい気分になりました。二つ目は寒河江祭り神輿の祭典でそのコースの最後尾についてごみを拾っていく担当としてサポーターする担当に分かれて行動するということです。当日は朝から雨模様でしたが、渡御が始まるころには雨も上がり熱気の中無事に終了することができました。三つ目は「二声運動」です。寒工祭の初日の朝に昇降口で先生方と役員の方であいさつ運動を行うというものです。あいさつ運動をしていると、穏やかな学校の雰囲気を感じました。

今年度を振り返って

文教部部長 松本 一彦
PTA会長を始め役員の皆様、保護者、先生の皆様、大変お世話になりました。PTA新聞「輝くエンジン」の編集に携わる事により、学校での子供たちの成長も近くで見ることができたと感じています。

そして皆様にもこの新聞を通して学校での子供の生活の様子や地域社会へ貢献している事などがわかると思っています。最後になりますがPTA新聞発行にご協力して頂いて本当にありがとうございました。

しかし、このことは今考えてみると決してネガティブな要素ではなく、逆にポジティブな要素であり、保護者の皆様のご協力もあり、子供たちは有意義な高校生活を送れたのではないかと感じています。全体的に、満足頂けない点もあつたことと思います。が、今後の学校運営に活かしていくことを約束しご容赦頂ければ幸いです。最後になりましたが、保護者の皆様そしてこの学校を巣立っていく諸君の未来に幸多からんことを願ひ、挨拶とさせていただきます。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。P.T.A.の皆様方によるあいさつ運動での協力やご家庭での指導のおかげで、地域の方々から、本校生徒のあいさつが多く、校長としても誇らしく思っております。

また、地区P.T.A.の活動では、日常の学校生活では体験できない、親子ボランティアなどの活動を通じて、生徒の成長に大きく貢献していただいております。このような活動の成果として、外部機関との交流事業における本校生の高評価獲得につながっていると感じております。こちらにつきましても、改めて感謝申し上げます。

創立五十四年目を迎えた平成二十九年度も残りわずかとなりました。今年度を振り返って、さまざまな生徒の活躍があります。資格取得については、技能検定では難関である二級の受験者が増え、三級の受験者も増えました。また、後期は四十名が受験中であり、三月中旬に合格が判明します。合格が非常に難しい、電気工事士第一種に三年生一名、二年生二名が合格しています。

全国工業校長会にはジュニアマイスター制度があり、これまでの段階でゴールドの該当者はありませんが、シルバーに三名が認定されています。

現在、ゴールドに一名申請中であり、年度末までに認定される予定です。他にもいろいろな資格に挑戦し多くの成果を上げてくれました。



「輝くエンジニア」の育成に向けて

校長 高橋 剛文

特別活動では、地域と連携した活動により、地域を思う心を育むとともに、地域に活力を与えてくれました。「若草のみち」活動では、地域や中央工業団地の皆様と一緒に、全校生徒が除草や清掃活動を行い、周辺道路をきれいにすることができました。さらには、植栽活動の成果により、歩道を華やいだ雰囲気にすることができました。

寒河江祭り神輿の祭典の参加では、最後まで若々しいいきおいを披露してくれました。祭りの運営スタッフとして活動、周辺道路のゴミ拾いと、それぞれの役割を誠実に取り組んでくれました。終演式において、寒河江市長から本校生徒に対する感謝の言葉を頂戴することができました。その後も、多くの皆様からお褒めの言葉を頂くことができて、大変うれしく思っております。

寒工祭は生徒会執行部を中心に運営されています。工業高校にふさわしい展示やクラスの出し物となるよう工夫をしました。全校一丸となつて取り組み、楽しい学校祭になりました。

小さい時から工業分野に興味と関心を持つてもらえるように、本校生が先生役となり、小学生にもづくりの楽しさを教えるものづくり教室も行いました。こちらも参加者からは大変喜ばれております。

生徒の成長には、学校・地域・家庭の連携が極めて重要であり、ます。校歌にありますが「輝くエンジニア」の育成に向けて、職員一同これまで以上に、P.T.A.の皆様と共に取り組んでまいります。これからもどうかよろしくお願い致します。

①全体PTA関係(総会・レクレーション等の取り組みはどうでしたか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	83	75	137	4	0	1	3.8	△0.1
教員	7	12	17	0	0	0	3.7	△0.2

②地区PTA関係(地区懇談会・ボランティア等の取り組みはどうでしたか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	96	83	114	5	0	2	3.9	△0.1
教員	9	13	13	1	0	0	3.8	△0.3

③学習指導(授業・定期考査・課題等の取り組みはどうでしたか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	62	102	122	8	1	5	3.7	0
教員	1	14	17	4	0	0	3.3	0

④お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	34	57	130	56	19	4	3.1	0
教員	1	0	17	13	5	0	2.4	△0.1

⑤生徒指導(身だしなみ・交通安全等の取り組みはどうでしたか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	69	90	133	7	0	1	3.7	0
教員	1	14	18	3	0	0	3.4	△0.4

⑥部活動指導はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	72	91	118	13	5	1	3.7	0
教員	1	19	12	3	1	0	3.4	△0.3

⑦進路指導(就職・進学・公務員等の取り組みはどうでしたか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	70	78	141	8	0	2	3.7	0
教員	4	17	12	3	0	0	3.6	△0.1

⑧お子さんの進路活動への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	56	80	129	30	2	3	3.5	0
教員	3	16	12	4	1	0	3.4	△0.1

⑨保健活動(健康・安全・衛生等の取り組みはどうでしたか)

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	64	70	159	3	0	3	3.7	△0.1
教員	6	14	13	3	0	0	3.6	△0.3

⑩個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	59	60	174	2	1	4	3.6	△0.1
教員	2	12	14	8	0	0	3.2	0

会員の皆様からアンケートにご協力頂きありがとうございます。概要は次の通りです。

○今年度は、データ比較等の観点から、前年度と同じ内容で実施した。

○回収率は、保護者が九六・五％、職員が一〇〇％。

○前年度と比較して、保護者からの評価はほぼ横ばい、職員による評価は上昇してきた。(△は上昇)

○今年度も、②のポイントが高く、④が低かった。

今後、記述部分も含めて結果を分析し、来年度に活かしていきます。

●設問に対する評価

5 満足(十分)	
4 概ね満足(概ね十分)	
3 普通	
2 やや不満(やや不十分)	
1 不満(不十分)	

⑪各科(資格取得・ものづくり等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	59	86	141	12	1	1	3.6	0
教員	4	17	14	1	0	0	3.7	0

⑫各学年・各クラスの取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	74	81	140	3	1	1	3.7	0
教員	3	14	19	0	0	0	3.6	△0.2

⑬学校からの様々な情報提供はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	63	80	137	17	1	2	3.6	0
教員	3	14	15	3	0	1	3.5	△0.3

⑭いじめの早期発見のための取り組みと今後の対応はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値	前年比
保護者	63	72	151	7	1	6	3.6	0
教員	2	21	12	1	0	0	3.7	△0.2

総務部

平成二十九年度 学校評価アンケート

総務部部長 佐々木 裕章

小学生と高校生の ものづくり教室

機械科 松田 浩明

平成二十九年十一月七日（火）の午後から、今年で第四回目となる、小学生と高校生のものでづくり教室の出前授業を行いました。今年は寒河江市立柴橋小学校六年生（四十五名）にお邪魔しました。会場には、歓迎の言葉が書かれた黒板があり感激しました。先生役は機械科三年生の生徒諸君であり、小学生の手伝いを行いながら製作を進めていきます。製作したのは、ペットボトルカーとポンポン船です。それぞれ、作業行程が少なくなるように工夫していますが、はじめて使う道具や力が必要などところなどあるため、その都度高校生が先生となり、製作を手伝いながら作品を完成していききました。高校生も普段は教えてもらう方ですが、この日は教える方となり、うまく説明するのに苦労していたようです。生徒の中には、手伝う時に立って説明するのではなく、同じ目線の高さで説明したりと個人で工夫しながら行っていました。例年、ものづくり教室を行った記念に、本校機械科で製作した記念品を児童一人一人にプレゼントしていま



す。昨年からは、サンドブラストという加工方法を用い製作した柴橋小学校の校章が入ったガラスのペーパーウェイトを贈呈しています。この記念品も機械科の生徒諸君で製作したものです。同じ加工を生徒分任することはなかなか根気のいる仕事ですが最後まで製作してくれました。この行事は毎年行っているものですが、お邪魔する小学校や先生役の学生が違うため毎年様々の新しい発見があります。本校の生徒諸君にとってこの様な経験は少ないと思います。これからの生活の中で少しでも役に立てばと思っています。

皆さんの協力と 全校生徒の結集で

生徒指導部長 菅谷 明浩

平成二十九年度も、皆様のご協力により多くの行事を生徒会を中心に、成功のうちに終えることができました。六月に行われた「若草の道」沿道の除草・植栽ボランティア活動では、町内会、中央工業団地の皆様、全校生徒・全職員が協力し合い活動し、私たちにとりまして大変貴重な時間となりました。九月の寒河江祭り神輿の祭典では、生徒会・みこし委員を中心に、保護者・職員を合わせ約二五〇名で参加し、小雨の中ではありましたが本気の担ぎとお手伝いできました。十月には「寒工祭」が行われ、一般公開日には、各種イベントのほか、今

保健部より

養護助教諭 金澤 志保

年々生徒たちを取り巻く環境は変化し続け、その変化の早さに驚かされることが多々あります。環境の変化と共に、生徒たちも変化しているように感じます。SNSやネットの普及により、直接人と言葉を交わすという機会も減っているため、当たり前である、挨拶や人と関わる上で身に付けるべき最低限のルール等を知る機会も失われつつあります。人との関わりから学ぶことはとても多く、一生役立つ学びとなるでしょう。ま

年も左沢高校から果樹の販売協力もあり、大いに賑わいました。各種行事は、生徒にとつて、その一つ一つが思い出深く、良い体験になったことと思います。来年度もさらに本校発展のために、学校行事に力を入れて参りたいと考えております。



た近年、性犯罪の関与・DV・望まない妊娠や出産といった「性」に関する問題が深刻化・多様化しています。本校では、生命尊重・育児等の家族人生計画・人権などの学習を通して、近年増加している問題に触れる自分の身に起こった際どうするかなどを考えられるような取り組みをしてきました。卒業後、すぐに社会に出ていく生徒が多い本校であるからこそ、近い将来役立つ取り組みを続けていくべきであり、生徒たちが自ら長い人生をより良いものとしていけるよう、日々の生活や学習・指導を通して関わっていききたいと思

三年間を振り返り

前生徒会長 惣田健太郎



私が、寒河江工業に入學して、三年が経とうとしています。この三年間は、勉強や部活動そして生徒会と様々な経験を経ることができ、充実した三年間だったと思います。

その三年間を通じて、私自身を大きく変えることができました。私は生徒会長になる前は、内気な性格で、人前で話すということも苦手でした。しかし、生徒会長になってからは、様々な経験を通して、その性格を変えることができました。人前で話すことも苦手ではなくなりました。それは、生徒会長という貴重な経験をさせていただいたからだと思います。

また、今年度の活動として、若草の道植栽ボランティアや、寒河江祭り神輿の祭典への参加など、伝統的な行事を継続して行えたことをうれしく思います。後期生徒会の皆さんも伝統的な行事を続けつつ、新たな事から寒河江工業を発展させていくって欲しいです。この一年間、様々な体験から多くの事を学ばせていただきました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

我がまちのトピックス

親子ボランティア活動

山形北地区会長 遠藤 幸二

今年度の山形北地区親子ボランティア活動は、六月二十五日(日)に山形市銅町地内馬見ヶ崎川西岸のゴミ拾い清掃活動を行いました。総勢約七〇名の参加となりました。

清掃地域は、二口橋から千歳橋の間で、日本一の芋煮会会場の下流域にあたり、駐車場・芝生広場・水道・トイレ等の設備が整い、芋煮会の季節は元より、好天時は多くの親子連れでにぎわう人気のレジャースポットとなっています。

各学年でエリアを分け広大な河川敷の清掃に取り組みました。空き缶、タバコの吸い殻、バーベキューの残り、ビニール袋など、多くのゴミの回収ができました。

子供達には、ボランティア活動を通じて、寒河江工業高校の『目指す生徒像』に掲げられた『一人前の社会人となる人材(自分を活かし社会に貢献する)』こと



につながらばいいなと思います。今後とも、『自分自身から地域社会に貢献できる思い』の育成に、

ボランティア活動を継続していただきたいと思います。当日早朝から参加していただき、お疲れさまでした。

寒河江東地区会長 鈴木 勇治

地区は、毎年チエリーランドの河川敷のゴミ拾いを、親子ボランティア活動として行っています。



九月十六日(土) 早朝六時にチエリーランド裏の河川敷大テント前に集合して、まだ子供達は眠い目をこすりながら、かなり広い敷地内を左右に分かれて一時間位ではありましたが、各自持参してきたゴミ袋に沢山ゴミを拾ってくれました。

高校生にもなりますと、どうしても親子で参加して行う行事が少なくなってしまうのでこういう活動は親にとってもいい思い出になる事だと思っています。社会人になっても、会社の床に落ちているゴミを見つけたらすぐに拾ってゴミ箱に捨てられる子供になつてくれると思っています。

今後も親子で出来る活動の一環として、ボランティア活動を継続して行ってほしいです。

この年を振り返って

二年主任 木村 雅善

高校生二年生という大抵の高校では修学旅行をはじめとする様々な行事や部活動に積極的に取り組むとともに、進路について大筋で方向性を決定していくという学年ではないでしょうか。この二年生で決めた方向性が将来の自分の生き方を左右するとと言っても過言ではありません。本校も他校と同様、一年次と比較し進路関係の行事が頻繁に実施されています。先ず、進路を決定する上で就職か進学か、就職する場合は民間か公務員か、進学する場合は大学、短大、専門学校の何れかというように自分の具体的な道筋を決定していかなければなりません。先般、進路希望調査を提出して頂きましたが、未定の生徒もおり大変心配しています。

また、十二月中旬に実施した進路別セミナーでは、進路希望に応じて有意義なセミナーが出来たと感じています。内容についてはそれぞれ異なりますが、民間就職を希望している生徒に対して冒頭「未来の自分は今の自分次第で変わる」と題して様々なアプローチを生徒にして頂きました。特に印象に残った内容として小学校で先生が質問



機械科



電子機械科



情報技術科

するとクラスのほぼ全員が手を挙げるのに、高校ではその反応が極めて少なく積極的な行動がなくなる、という現状を例に様々なことに関心を持ち、反応し積極的に行動することがコミュニケーション力の向上につながるかと考えた。更に、現在、新規学卒就職者の三年以内での離職率が四〇%以上である現状を例に、講師の方が希望して働いていた部署から好まない部署へ異動した際の経験を語り、憂鬱だった仕事が楽しくていく上での様々なことを吸収しスキルアップにつながった経験や人から頼りにされることでやりがいが生まれてたことに触れ、継続することの大切さを伝えて頂きました。これから様々な困難があると思いますが、自ら考え行動する姿勢を持ち続けることが大切だと感じました。

また、十一月十二日より二年生最大の行事である関西方面への修学旅行に出かけてきました。この旅行を通じて、歴史的建造物や文化にふれる事は勿論ですが、クラスの団結力を高めたり、様々な状況の中で判断しながら行動をすることで良い経験が出来たと感じています。

間もなく三年生になるわけですが、保護者の方と協力しながら生徒の目標達成を手助けしていければと考えています。

新会長として

新生徒会長 永山 拓海



このたび前期生徒会を引き継ぎ、生徒

会長に着任した二年機械科の永山拓海です。私は生徒会での活動経験がなく不安とやる気の二つの気持ちがあります。そんな中で自分の良いところを発揮し、全校生と共により良い学校を作っていきたいと思っています。

私がこれからの生徒会活動を行っていくにあたり、特に頑張っていきたいことがあります。それは体育祭、寒工祭の二つの行事とボランティア活動です。まず体育祭と寒工祭の二つは大きな行事です。この行事を全校生徒が笑顔で楽しいものにできるように企画し盛り上げていきたいと思っています。また、地域のボランティア活動に積極的に取り組み地域に根差した学校にできるように力を入れていきたいと思っています。

この事が達成できるように日々の行動をしつかりし、信頼してもらえる会長になれるように頑張っていきたいと思います。よろしく願います。

チャレンジ精神

バスケット部顧問 佐藤 琢磨

寒河江工業バスケットボール部は、三年生五名、二年生六名、一年生十名在籍しています。チームは自分たちが立てた、『県ベスト十六、二部昇格』を目標に練習に励んでいます。身長

が低い分、他のチームより走ったり、リバウンドやルーズボールなどに飛び込んだり、泥臭いことを徹底できるようなことが目標達成には求



進路指導部より

進路指導部部長 遠藤 文字

進路希望を実現させた三年生の皆さん、進路達成おめでとうございます。皆さんのこれまでの努力に拍手を送るとともに、今後ますますの活躍を期待しています。

今年度の進路状況を報告します。三年八月当初の進路志望状況は、六割弱が民間就職、四割弱が進学希望でした。就職希望のほとんどの人が自宅から通勤できる県内企業を希望し、内定割合もほぼ同じとなりました。公務員関係は八名が希望、来年度から公務員の道へ進む人は四名です。一次試験を突破した生

められます。現段階では、まだまだ実践できていないところが多くあり課題となつていきます。しかし良い点として、コミュニケーションが取れるようになってきたので、個人の考え、チームの考えを共有し、成長して欲しいと期待しています。

美術部 年間活動紹介

美術部顧問 居駒美和子

本校美術部の一年間の活動をおおまかに紹介したいと思います。

春は、美しい桜を鑑賞し、お団子をいただきましたながら、新

徒が多くあり、長期的に試験対策を重ねてきた成果がでた形となりました。進学については、ほとんどの生徒が推薦入試・AO入試で受験し、四年制大学合格五名、県立産業技術短期大学校への合格十七名などとなっております。

求人数は昨年度を上回りました。好景気による人手不足から、数年を経て高校求人を出したという企業もありました。希望者にとつては選べる幅が広がりましたが、同じ企業に希望が集中するということもあり、合格に至らなかったという人もいました。不合格理由はコミュニケーション能力・基礎学力不足、ケルシヨ能力・基礎学力不足、欠席日数が多いなど。企業から

入部員を歓迎します。

また、寒河江市慈恩寺にて一日スケッチ旅行を行います。



この「慈恩寺絵画コンクール」に応募し、今年はE1工藤優大君が、優秀賞に選ばれました。

夏は、一泊二日の合宿（朝日自然観）を行い、技術を磨きます。卒業生も参加し、進路等様々な面で先輩からアドバイスを頂ける貴重な機会となっております。

秋は、山形県高等学校総合文化祭が行われます。今年度は鶴岡アートフォーラムに行ってきました。本校からは五名の作品が展示され、M2村上健斗君の作品が努力賞に

仕事内容への理解が足りないという指摘もありました。

進学の第一志望合格率は九七・一％（昨年度八七・八％）でした。生徒数減等により希望者にとつては希望の叶いやすい状況となっておりますが、人気のある進学先は依然として難易度が高く、ある一定の学力が求められます。また、入試方法も多様化し、早めに希望校、受験方法を考え、対策を練ることが必要になっていきます。

今年度も多くの方々を支えられ、進学・就職のいずれにおいても、三年生の頑張りが表れた進路活動、内定状況となりました。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

選ばれました。

冬は、読書感想画コンクールへの出品と三年生に感謝の気持ちを含めて、鍋を囲み、送る会を催します。

美術部は地味ではありますが、皆、仲良くコツコツと作品作りに励んでいます。これからこの良さを大切にしながら、精進していきたいと思っています。

ソフトテニス部活動紹介

ソフトテニス部顧問 池田 正平

平成二十九年年度のソフトテニス部は三年生八名、二年生十二名、一年生六名でスタートしました。学校のコートを使えるようにして二年目になりましたが、水はけが悪く、表面も平らではなく、十分な活動ができないため、寒河江市民体育館のテニスコートも併用しながら、活動してきました。

部員は初心者者も多いですが、中学校時代に西郡、東郡で活躍した選手も多く、少しでも上位を目指して、練習を重ねました。県高校総体では団体戦、酒田西に勝利してベスト16に入りました。新人チームも、地区新人戦団体ベスト8、県新人戦も団体ベスト16と好成績を収めたと思います。

二年生中心のチームも来年の県高校総体に向けて、最後まで頑張ってもらいたい。



一学年を振り返って

一学年主任 菊池 敏宏

この一年を振り返ってみると、四月の入学式ではまだ初々しさが残るフレッシュな新入生一〇〇名を迎えることができました。元気で明るいクラス、真面目で大人しいクラスと個性的な生徒達がそれぞれのクラスにいました。七月の体育祭では様々な種目を通じてクラスの団結力が高まりました。

二学期に入ると、それぞれの人間関係も安定してきて各クラスの個性が更に発揮されて来ました。特に寒工祭ではクラス毎楽しみながら一生懸命に取り組み、より一層仲間意識が高まりました。また、各部活動に一生懸命取り組んでいる生徒も多く、学年全体としても良い方向に向かっていっていると思います。

これからいよいよ三学期、一年の総決算の時期になります。一人一人が毎日の授業や家庭学習等に真剣に取り組む一〇九名（二名休学）全員が進級できるように精一杯頑張ってもらいたいと思っています。そのためには保護者の皆様のご理解とご協力が必要になると思いますので、よろしくお願いいたします。